情報公開文書

第 1 版：2025 年 10 月 10 日

1. 研究課題

   急性虫垂炎発症後の下部消化管内視鏡検査の意義：単施設後方視的コホート研究

2. この研究について

   急性虫垂炎は最も頻度の高い腹部救急疾患の一つです。近年、一部の急性虫垂炎患者において、大腸癌や腺腫などの腫瘍性病変が発見されることが報告されています。しかし、どのような患者に対して下部消化管内視鏡検査を行うべきかについては、明確な基準がありません。

   本研究では、当院で急性虫垂炎と診断・治療を受けた患者の診療記録を後方視的に調査し、どの程度下部消化管内視鏡検査が実施されているか、またその検査でどのような大腸疾患が発見されているかを明らかにします。これにより、将来的に適切な大腸スクリーニングのあり方を検討する基礎資料とすることを目的としています。

3. 研究の対象となる方

   - 2017 年 1 月～2024 年 12 月の間に、総合南東北病院で急性虫垂炎の診断により入院治療を受けた 18 歳以上の患者の方が対象です。
   - ただし、診療記録が不十分な場合などは除外されます。

4. 研究の方法

   診療録（カルテ）などの既存情報を用いる後方視的観察研究です。新たな検査や治療の介入は行いません。収集項目は、年齢・性別・基礎疾患・虫垂炎の診断や治療内容・内視鏡検査の有無や結果などです。

5. 調べること

   収集項目は、年齢・性別・基礎疾患・虫垂炎の診断や治療内容・内視鏡検査の有無や結果などです。

6. 倫理的配慮

   本研究は診療録を用いた後方視的研究であり、患者さんへの新たな身体的・心理的負担はありません。収集したデータは匿名化して管理し、個人が特定されないよう十分配慮します。研究に参加したくない場合は、申し出によりデータを研究対象から除外します。

7. 個人情報の取り扱い

   研究用に抽出したデータには研究用 ID を付与し、個人が特定されない形で解析します。対応表（ID と氏名の対応リスト）は研究事務局が厳重に保管し、研究終了後 5 年間保存したのち適切に廃棄します。匿名化された解析データは、研究成果の確認のため同期間保存されます。データへのアクセス権は研究関係者のみに制限されます。

8. 個人情報の取り扱い

   倫理委員会承認日（2025 年 10 月予定）から 2027 年 9 月 30 日まで。

9. 研究組織

・ 研究責任者・研究事務局

一般財団法人 脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院 外科
河村 英恭
〒963-8563 福島県郡山市八山田 7 丁目 115
TEL：（024）934-5322

・ 共同研究機関

福島県立医科大学 低侵襲腫瘍制御学講座